

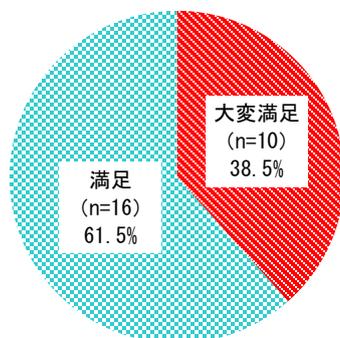
第4章. 参加者アンケート

1. 実施概要

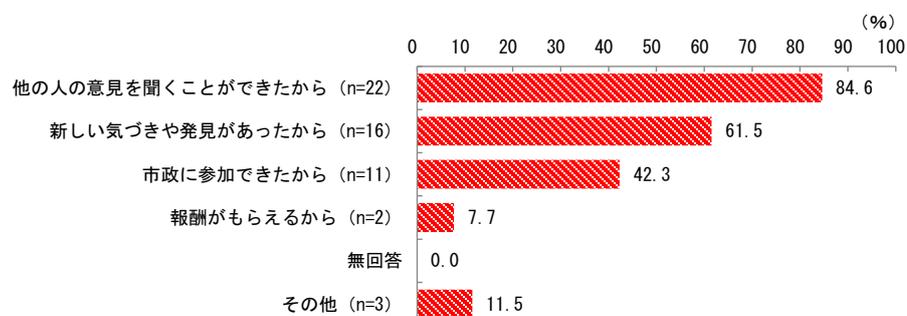
調査対象	本ワークショップ参加者
調査方法	当日会場にて配布・回収
回収数（回収率）	26件（100%）
調査項目	1-1. 参加の満足度 1-2. 満足度の理由（満足／不満） 2-1. 情報提供の理解度 2-2. 理解しにくい理由 3-1. 話し合いの方法への評価 3-2. 話しづらい理由 4. 参加してよかったこと 5. ワークショップの実施に対する評価 6-1. 今後の取組みへの参加意向 6-2. 参加意向の理由 7-1. 性別 7-2. 年代 8. 自由意見

2. アンケート調査結果

[質問 1] 参加の満足度（SA,N=26）



[質問 1-2] 「大変満足」・「満足」とした理由（MA,N=26）

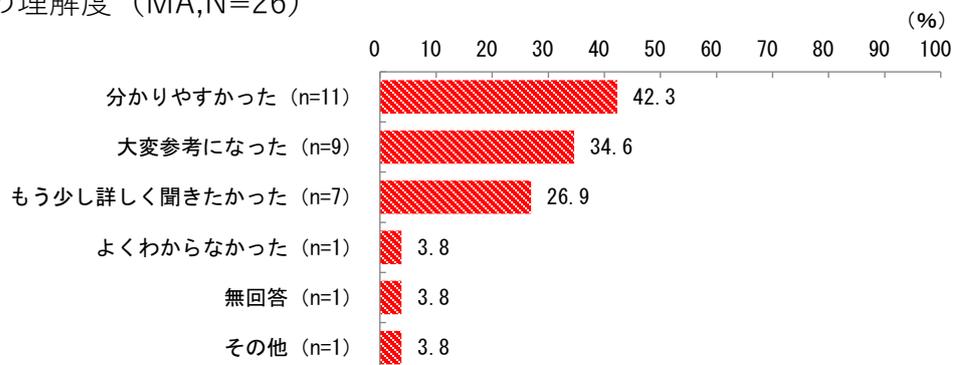


<その他 (n=3)> □状況によって求めているものが違っていることがわかった。
 □異なる年齢の方と話せたから。
 □皆さん色々考えてらっしゃると知ってうれしかった。

[質問 1-3] 「不満足」・「大変不満足」とした理由 (MA,N=0)

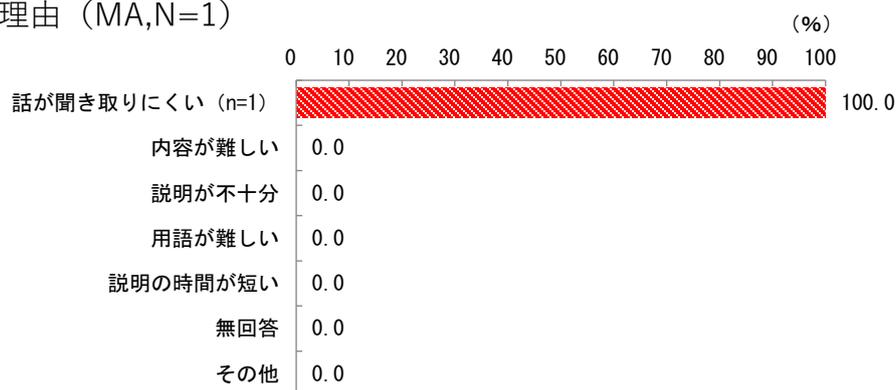
[質問 1] で「不満足」・「大変不満足」と回答した方はいなかった。

[質問 2] 情報提供の理解度 (MA,N=26)

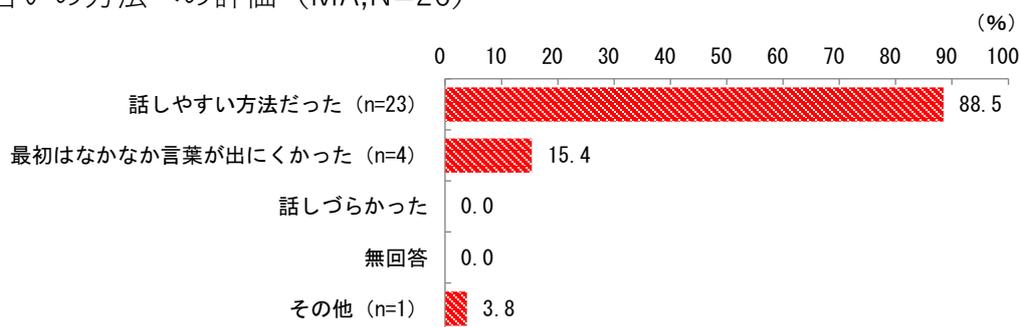


<その他 (n=1) > □分かりやすくはなかったと思う。

[質問 2-2] 理解しにくい理由 (MA,N=1)



[質問 3] 話し合いの方法への評価 (MA,N=26)

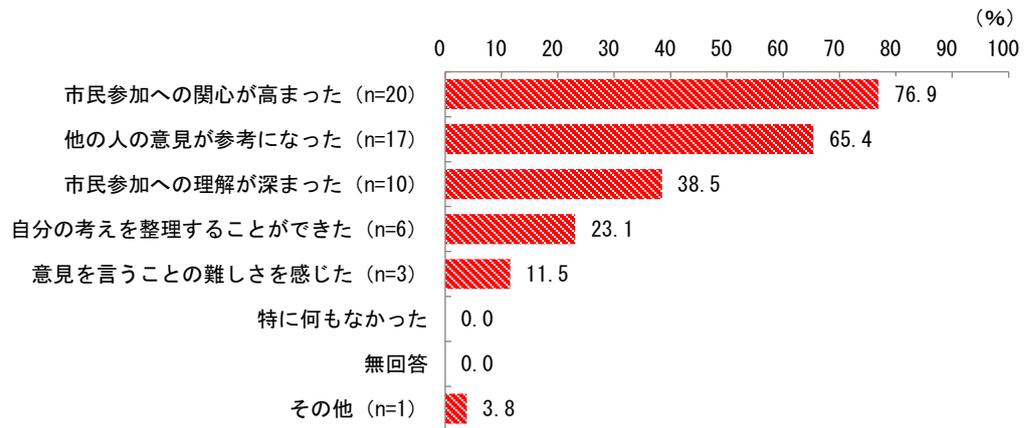


<その他 (n=1) > □フェイスシールドをしていたので、他の人の声が聞こえなかった。自分の意見も届いていたかどうか。

[質問 3-2] 話しづらい理由 (FA,N=0)

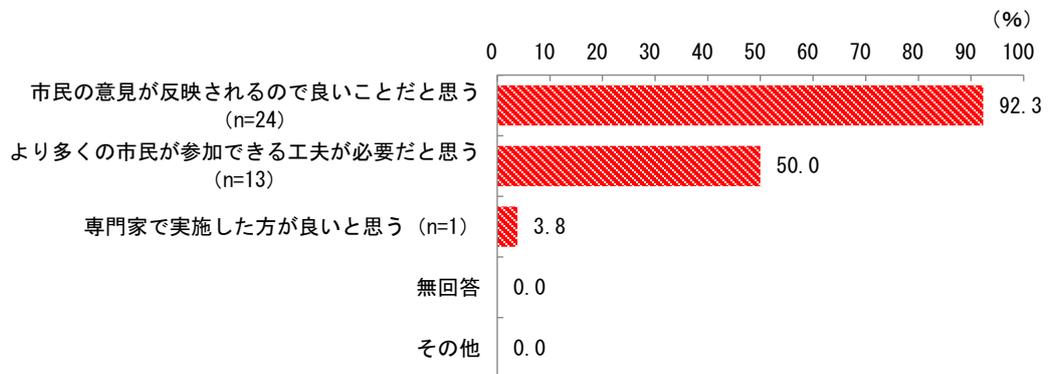
[質問 3] で「話しづらかった」と回答した方はいなかった。

[質問 4] 参加して良かったこと (MA,N=26)

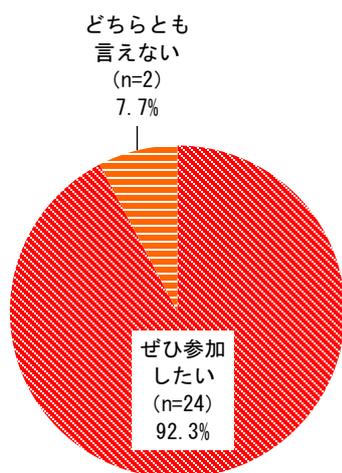


<その他 (n=1) > □色々書いたが、的を射たものかは自信がないです。

[質問 5] ワークショップの実施に対する評価 (MA,N=26)



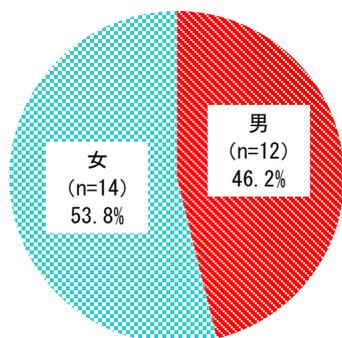
[質問 6] 今後の取組みへの参加意向 (SA,N=26)



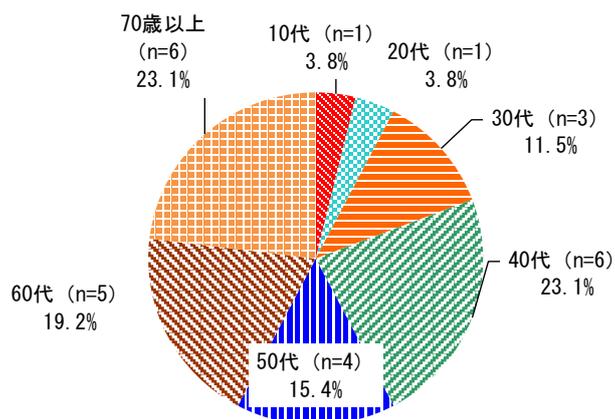
[質問 6-2] 参加意向の理由 (FA,N=9)

- <自分のためになるから>
- 自分のためになるから。
- <他の人の意見を聴くことができるから>
- 他の人の意見がとても参考になった。
 - たくさんの方の意見を聞くことは大変良い経験になった。
 - 他の人の意見・考え方が参考になる。
 - 世代を超えて、それぞれの意見が聞けたのは非常に良かったです。
- <市民の意見を反映してほしいから>
- 札幌市を住みよいまちにするために、市民の意見を反映してもらいたいため。
 - 他の方の考え方も聞きたいですし、もしも参加するのなら周囲の意見も拾って出席する形にしたいです。

[質問 7-1] 性別 (SA,N=26)



[質問 7-2] 年代 (SA,N=26)



[質問 8] 自由意見 (FA,N=18)

<良かった／また参加したい>

- 楽しかったです。良い札幌になっていくとありがたいです。
- また機会があれば参加したい。
- 事務局の方も含めお疲れ様でした。一緒に市政を考えていきたいです。
- 始めから皆様の意見・考え方が大変多く、勉強になりました。
- 意見を言うことができた。
- このようなワークショップであれば、次回も参加したく思っています。
- 市がこのようなワークショップを開いているのを初めて知った。もっと広く知らせるようにしたら良いと思う。結果（成果）を知りたい。
- とても気持ちの良い時間で、またまとめていただいた方も人柄良く、和みながら自分の意見・希望まで話すことができました。このワークショップをぜひとも「出前」の形にして、町内会という地域との交流の場とともに開催してほしいです。

<提案・アイデア>

- 今後増えるであろう外国籍の方の参加も希望する。
- 情報発信の場として、学校の授業の中に「市民参加について考える場を設ける」というアイデアが出ました。多様なニーズに応える市立札幌大通高校は新しいアイデアを実行する場にふさわしいと考えていますので、もし今回のアイデアが実行されるような機会があればご検討ください。

<課題>

- 具体的な意見を伝えたつもりですが、今回のワークショップで出た意見がどこまで反映しているのか、逆に市側が具体的に取り組みを実施したこと、出来なかったこと、出来なかった（取り組みしてこなかった）理由まで発信してほしいです。また、数年前のワークショップの意見を参考にして取り組んだ内容も発信出来たら、と思います。
- ワークショップやパブコメが「市民の意見を聞きました」みたいなアリバイづくりにならないことを願ってます。
- 配布物の封筒はいらない。もったいない。ワークショップにかけるお金があるなら他に回して。

<新型コロナウイルス感染対策について>

- 時節柄仕方ないが、フェイスシールド+マスクで息苦しかった。
- コロナ対策でマスクにフェイスシールドの使用で聞き取りにくく、息苦しさがあつた。マイクの使用を考慮すべき。
- フェイスシールドが苦しかった。声が届きづらかった。換気のため仕方ないが寒かった。暖房を上げてほしい。

<特になし>

- 特にありません。

